



共生の社会を目指して

今、時代は大きな転換期を迎えています。世界は閉塞感に満ちていて、それを打破していく新しい価値軸を求めているように思います。私たちは今、新しい時代への分水嶺に立っているのです。

日本の社会を牽引していく主力産業は戦前から繊維、造船、鉄鋼、自動車など、約30年周期で変化を遂げてきました。「これからの社会を牽引していく主力産業は何か？」という議論がありますが、これからは新しい産業というより、働き方や企業の在り方などの「イノベーション」が必要なのではないかと思えます。そして、このイノベーションは大企業主導の中ではなく、特色のある中小企業がお互いを活かし合い、連携し合うところに芽吹いてくるのではないかと思います。

政治では、新しい政党というより、政党という壁を超えた“新しい政治の枠組み”を、宗教では、一人ひとりが自分なりに人智を超えた大いなるものとの対話、新しい“神との接し方”のようなものを、そして、企業活動では売上や利益ばかりにとらわれない、人の幸せを中心に考える温かみのある軸を、私たちは心の底で求めているのではないのでしょうか。身近な人達へ、地球の裏側に住んでいる人達へ、これから生まれてくる未来の人達へ想いを馳せながら、今、私たちがその礎づくりに挑戦していくことがとても大切で、そこに人として、企業としての魅力があるのではないかと私は思っています。

私たちエスピーックは、経済的価値が基軸になっている企業や社会の在り方から、「人の幸せに貢献しているかどう

か？」という人間中心の価値軸に沿った企業や社会の構築を目指したいと思えます。IT技術というツールを使って、企業や社会の発展に貢献し、人が幸せになっていく社会を実現していきたいと心から願っています。一本一本の指は弱いけれども、まとめて握りこぶしになれば大きなパワーを発揮できます。競争の社会から共生の社会へ。その実現を目指してGood People Companyの理念の下、これからも力強く歩みつづけます。

株式会社エスピーック
代表取締役会長 島 至



100年企業へ向けて 人を中心とした共生の文化の礎を築いていく

ここ数年、IT業界を取り巻く環境も大きく変化しています。

ハードウェア、ソフトウェアは急速に進化し、最近ではIoTやAI、ロボティクスといった新しい技術も台頭してきました。今やコンピューターシステムはある業務単体をオペレーションするだけでなく、経営者の課題解決の手段として、また、私たちが生活していく上で欠かせない社会のインフラとして重要な役割を担っています。

この環境のなか、弊社は2017年にIT企業として50周年という節目を超えることが出来ました。振り返ってみると半世紀に渡り、お客様からご支持をいただき、ささやかながら発展してこれたのも、新しい技術やビジネス環境へ適応出来ただけでなく、お客様や社員、その家族との関係を大切にしてきたからではないかと思えます。

人が中心の会社や社会の実現を目指し、『Good People Company』という理念を私達は掲げています。家族も参加する社員旅行や運動会、趣味やスポーツ好きが集まるクラブ活動、サプライズを盛り込んだ会社イベントが自然と人を大切にする行為や行動に繋がっているのだと思えます。主体的に取り組む姿勢や家族との愛情、仲間との友情といったものが活力となって、仕事にも良い影響を与えているのだと実感します。

弊社が100周年を迎えるころには、電子コンピューターではなく量子コンピューターに、プログラミング工程は全てAIが自動で生成する時代になっているかもしれません。現在ある技術のほとんどは陳腐化していると思います。お客様の業界をサポートするためのコンサルタントとしての技量や、人と人を繋げるマネージメント力、リーダーシップは今後も益々必要となってくるでしょう。その領域を強化し、独立系IT企業としてステージアップしていきたいと思えます。

何よりも陳腐化させてはならないものは、人や人の繋がりであり、人間尊重の文化だと思えます。世界を見ると、大国間の覇権争い、地域の紛争、差別や貧困が絶えません。その中でエスピーックは単にお金を稼ぐ、利益を出すといった経済活動の場としてだけではなく、システム構築というモノづくり、豊かな社会の実現を目指したコト作り、働く社員がどう生きていくかといったヒト作りに益々、力をいれ、共生の社会を実現していきます。

株式会社エスピーック
代表取締役社長 白川 満貴



Good People Company

人を一番大切にする企業

人の成長と共に成長していく企業



美点を見つめ、すべてを愛する人

その人の良いところを探す。ここに焦点を当てるだけで、本当にたくさんの魅力が見えてきます。実際に昔から実践していて、「嫌いな人がいなそう」と言われます。人のいいところばかり見ていると対人関係はいつも良好、毎日が晴れやかです。

相手の幸せこそが、自分の幸せとを感じる人



とても仲の良い友人の結婚式で、披露宴の司会を任された時の話です。宴もたけなわとなり、新婦からご両親への挨拶の際に、司会者である私は友人より先に号泣してしまい、司会自体も全く何を言っているか分からず、皆さんに笑われるという失態を犯しました。。しかし、後日その友人の家に遊びに行った時に、友人のお母さんから、「自分のことのように喜び、感動してくれてありがとう。本当に心の優しい人ね。あんなに感動的な結婚式は初めてだったわ。」と言ってもらい、お母さんと私は、思い出してまた泣いてしまいました。思い出す度に泣けて来るエピソードです。

夢に向かい、自創の心で歩む人



夢があるからこそ、モチベーションの維持ができ、チャレンジする勇気が湧いてくると思います。その夢が、自己成長だけでなく、周りの人を幸せにし、社会に貢献できる様な夢であれば、もっと高い意志となり、夢を叶える為のパワーになるのではないのでしょうか。そして、その夢を叶えることが出来る人がGood Peopleだと思います。
エスピックは、周りの人を幸せにできる人は多いと思いますが、「ビジネスで」となるとまだまだ成長段階です。そんな夢（ビジネス）を自分で創造し、実現に向けて自分自身で決断し、失敗を恐れずにチャレンジする文化を定着させることにより、エスピックからの幸せの輪をさらに広げることができると思っています。

Good People 5箇条

私たちエスピック社員は、「いい人がいい会社・いい仕事をつくる」と考える社長のもと、会社の企業理念となっている、「Good People Company」を本気で実現していきたいと思っています。そのための行動指針を5つにまとめました。



すべてに、「ありがとう」

感謝の気持ちを持っていけば物事が悪い方向に進むことはありません。どんな困難な状況も、自分を成長させるための試練だと捉え、感謝の気持ちを持ってやってきました。上手く行かない時、「ありがとう」を上手く表現できたときは必ず良い結果が付いてきましたし、逆に上手く表現できなかったときは同じような状況が必ずといっていいほど続きます。
これからも多くの困難が待ち受けていると思いますが、感謝の気持ちをもって立ち向かって行きたいと思っています。そして、感謝の気持ちを持って生きることの大切さをより多くの人が実感できるように、日々、自らが先頭に立って実践していきたいと思っています。



人としての尊厳を大切にし、誇り高く生きる人

「人としての尊厳」とはその人が大切にしている誇りや生き方を尊重し、互いに理解しあう心だと思います。誇りや生き方を尊重するだけでは個人の尊厳に留まってしまいます。大切にしているものを相互理解し、時には苦しみや悲しみを相互扶助することで「人として」の価値が生まれます。私自身も仕事を通じて、多くのお客様やパートナー様に相互理解、相互扶助してもらうことで勇気と自信が持ち成長した経験が沢山あります。この経験と感謝の気持ちを大切に、これからも「人としての尊厳を大切」する心を誇り高く持てる社員を育て、世の中の幸せに貢献できる会社を目指して行きたいと思っています。



私たちエスピーックが半世紀以上に渡り、多くのお客様やパートナー企業様に支持をいただき続けられたのは『Good People Company』という企業理念を掲げ、お客様やパートナー企業様に必要とされ続けたからです。

私たちは長年にわたりIT技術やノウハウを蓄積してきましたが、そういった技術やノウハウは『道具』に過ぎないと考えています。

AIやIoTに代表される昨今の新しい技術やソリューションさえもやはり道具の一つであり、道具は状況に応じて選び、使うものです。

私たちは世の中を便利に、またお客様を本当に幸せにするITはそういった新しい技術やソリューション

ではなく、IT設計時や運用でのむしろちょっとした気配りや配慮、そしてお客様の業務や文化に対する深い理解によってこそ生まれると思っています。

そういうIT設計や運用をデザインする事が得意なITエンジニアを数多く抱えているのが私たちエスピーックの大きな特徴です。

そして、IT構築や運用を通して築いたお客様やパートナー様との信頼関係をどんどん広げ、皆が幸せになる『共生の社会』を実現していくことが私たちの事業ビジョンです。

私たちはこれからも『Good People Company』という理念の下、お客様や社会が本当に必要としているITサービスを提供し続けます。



ITコンサルティング・SIサービス

企業のIT化はこの10年で大きく進みました。IT化でカバーする業務領域も急激に拡大し、今後もますます拡大していくことが予測されます。

このIT化する業務領域のますますの拡大に対応していくにはお客様よりシステム要求をいただき、それに対応する従来の手法では限界があります。エスピーックのコンサルティングサービスはビジネスのベースをしっかりと理解しているコンサルタントやエンジニアがお客様独自の業務特性を十分に理解し、お客様と二人三脚で将来課題までも視野に入れたシステム導入を目指し実現します。



IT構築・運用業務支援サービス

エスピーックのIT構築・運用支援サービスでは、大規模ERPの構築や構築したシステムの運用支援、PCヘルプデスクなどを中心とした事業を展開しています。

この事業でのエスピーックの際立った特徴としては、顧客満足度評価における「協力度の高さ」での高い評価です。実に9割以上のお客様に「満足」もしくは「大変満足」の評価をいただき続けていることです。

エスピーックの強みは、自分の役割を認識し、お客様の成功と一緒に作り上げる為にプロジェクトの成功に向けて積極的に取り組むことのできるエンジニアがいることです。



IT基盤構築サービス

エスピーックの基盤構築サービスの強みはクラウドネットワークから、社内ネットワーク、アクティブディレクトリやワークフロー、Windows、LinuxサーバーなどのサーバーOSといった情報システム基盤、ルーター、ファイアウォール、ロードバランサー、スイッチ、アクセスポイントといったネットワーク・インフラ基盤までの幅広い技術領域を持っており、これらの豊富な経験と製品知識を提案段階からご提供できることです。

エスピーックのIT基盤構築サービスはお客様にとって最適、安心なIT基盤の構築をお約束します。



SPICを彩る風景

Scene of SPIC



④ 受付
 明るい印象がする受付は、社員にもお客様にも大好評です。ディスプレイに表示される言葉とデザインは、社員が作りしました。これからも進化していきます。



④ 研修室
 50名ほど入る研修室の活用方法は様々。新人研修やグループの定例会議などで使われています。採用のイベントでは、お酒やピザをつまむことも?!



④ フロア
 部署間の壁がない、ワンフロアな造りがエスビックらしいところ。全員が顔見知り。年齢や役職に関係なく、いつでもどこからか笑い声が聞こえてくる職場です。



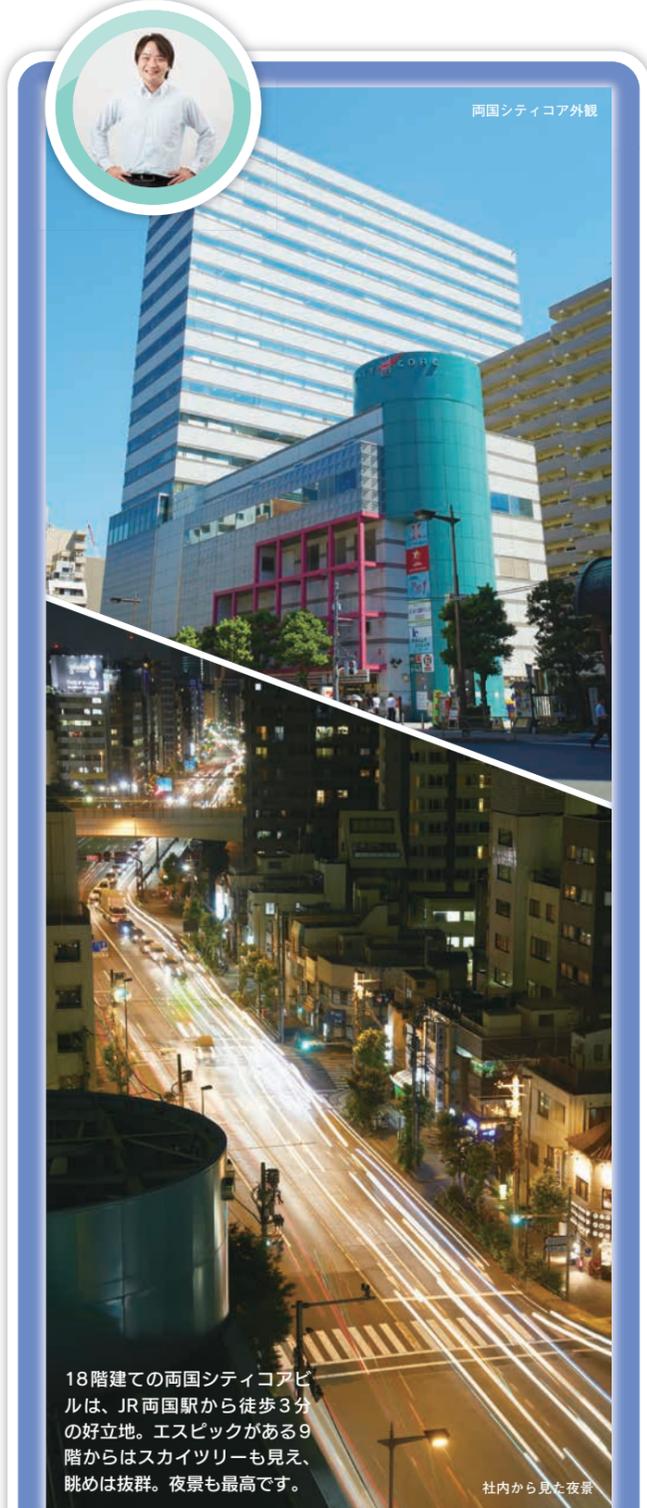
④ ロッカー
 社外で働く社員には、デスクの代わりにロッカーが与えられています。一人に一つ割り当てられるこのロッカーは、社員から使い勝手がいいと、喜ばれています。



④ リフレッシュスペース
 窓辺に接するこの場所は、眺めも良く、まるでバーカウンターのよう。仕事の合間に、コーヒーを飲んだり、お菓子を食べたり、社員の憩いの場として活用されています。



④ ミーティングスペース
 ちょっとした打ち合わせにも使える便利なミーティングスペースも充実しています。いい品質の物作りはコミュニケーションから生まれます。



両国シティコア外観

18階建ての両国シティコアビルは、JR両国駅から徒歩3分の好立地。エスビックがある9階からはスカイツリーも見え、眺めは抜群。夜景も最高です。

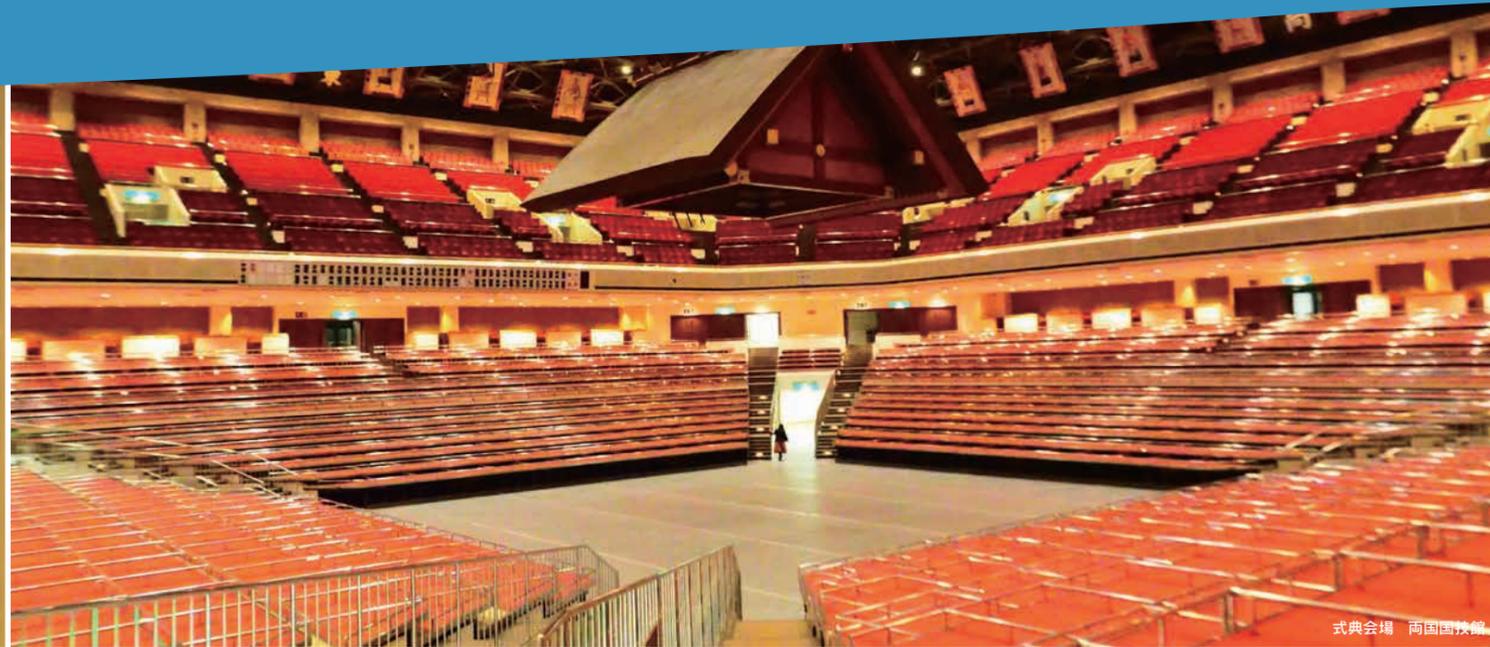
社内から見た夜景

創立 50 周年式典

The 50th anniversary



代表挨拶



式典会場 両国国技館



SPICオリジナル 相模のぼり



社員有志による「ソーラン節」

SPIC50年のあゆみ

- ◆1965年 創業
1967年島正治が「島計算機センター」を設立。業務内容としては、住友商事の伝票発行や請求書発行業務から始まり、徐々に計算業務受託に拡大していった。
- ◆1970年代 システム開発
ハードウェアの性能の向上と価格の低下によって、システム（ソフトウェア）開発の受注が少しずつ増加。このころ島正治の息子である島至が入社。
- ◆1980年代 会社の危機
開発案件が増える中で社員の技術習得や受発注のルールが整備されないまま多忙となり、ついに会社存続の危機に直面した。島正治は会社の整理を検討したが、その状況においても「大丈夫だと思う」そんな自信があった。島至が継ぐことになった。
- ◆1990年代 新社長の船出
社長に就任した島至はまず社員一人ひとりに丁寧にそして正直に現状を説明し、これからの夢とビジョンを熱く語った。社員の一人から「そういう状況なら、これから1年間私たちは無償で土曜出勤します」との提案があった。その言葉通り全社員が一丸となって業務に取り組み、1年目に黒字転換、3年後には売上、社員数とも倍増させることに成功した。
- ◆1990年9月 SPICの誕生
全社員から求める企業像をアンケート調査し、SPIC（跳べ！無限の可能性を秘めた夢多き挑戦者たちよ！）に社名変更した。
- ◆2000年代 SPICらしさの追求
バブル崩壊とともに再び経営状況がきびしくなっていく中で、島至はもう一度原点に戻り考えた「大きい会社や儲ける会社には興味がない。いい会社を創りたいんだ。いい人がいい会社を創る「Good People Company」の理念を打ち出した。もう一度会社を一から創り直したい。」それまでの中途採用中心の採用活動を改め、全面新卒採用に切り替えた。
- ◆2017年7月27日 創立50周年
新卒採用に切り替えてからの20年間、継続的に増収を続けている。その根底には島至の「人を中心にした」理念が下支えしており、新卒採用に切り替えてから入社した社員が現在、経営の中心を担い活躍している。
- ◆2018年6月 SPIC3代目社長誕生
白川満貴へ社長を交代するとともに、島至は会長へ就任。若い力を結集し、新生SPICの「100年企業」への旅が始まる。



式典風景

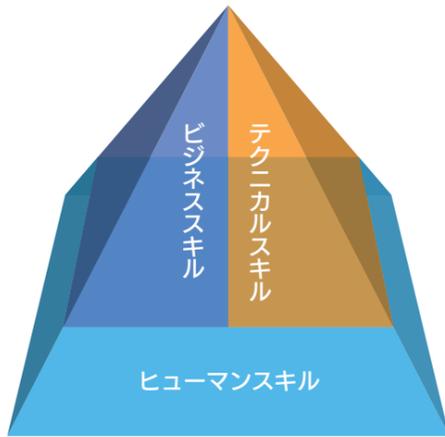
- ◆2018年11月 50周年式典を開催
弊社の50年の歴史は、弊社に関わってくださった人たちの輝かしい歴史の賜物でもあります。過去に関わりがあった方々、そしてこれから先の未来に出会う方々、すべての皆様に感謝しています。社員である私たちは「Good People Company」や共生の社会という企業理念や企業の在り方に深く共感しています。色々な人の色々な価値観を受け入れる、大きくて、温かくて強い人でありたい。100年企業へ向けて、これからも仕事に、人生に、社会に、私たちの個性を輝かせます。

社員一同



司会 (SPIC入社1年目社員)

エスピックでは、社員の成長こそが企業の成長の原動力であると考えています。エスピックの人財育成制度の特徴は、「社員の人としての成長こそが事業の成長の根幹である」ととらえ、人財育成室が中心となりヒューマンスキルを伸ばす研修、政策を数多く取り入れていることです。



その他不定期開催

- ・サブリーダー研修
- ・中堅社員向け研修
- ・営業力強化研修
- ・課題解決力強化研修
- ・コンサルタント育成研修
- ・プロジェクトリーダー育成研修
- ・個人情報保護（プライバシーマーク）研修
- ・その他個別技術研修
SQL研修、テスト研修、PC分解研修等

若手ステップアップ研修（2月）

若手社員向けにこれからのキャリアデザインを作る研修です。自分自身の次のステージに対する課題を発見し、アクションプランを実行していったり、普段接しない会社の仲間と新しい発見をしたりします。

新入社員研修（4～5月）

新入社員の入社後、2ヶ月間かけて社会人としての基礎とプログラミングの基礎、課題解決力基礎を同期とともに学びます。社会人として一歩を踏み出し同期との絆が生まれる2ヶ月間です。

フォローアップ研修（5月）

2年目社員を対象に先輩として後輩を受け入れる準備をする研修です。1年前、自分が新入社員だった頃の原点を再認識し、これからの成長を同期とともに確認し合う研修です。

新任リーダー研修（5月～9月）

新任のリーダーを対象にマネージャー育成研修を実施しています。他社のマネージャーに交じり2泊3日でマネージャーの基礎を習得します。ここで異業種交流が生まれることも……。

3月 社員総会

12月 忘年会 納会

4月 新人歓迎会

新人歓迎会

毎年4月に行なわれる新人歓迎会は、その名の通り新入社員を歓迎するイベントです。新入社員は自己紹介を兼ねて芸を披露するのが習わしとなっており、社員もどんな人が仲間になるのか楽しみにしています。これから何十年先も共に歩むかもしれない仲間と初めて顔を会わす貴重な日です。



8月

社員総会

年度末に開催される社員総会は全社員が一堂に会して会社・組織の方針を共有し、我々が目指すGood People Companyを築いていくために全社員の想いを共有する会です。有志が集まった社員総会実行委員会が中心となり、毎年様々なエスピックらしい企画を考えています。その一つが「S1グランプリ」です。全社員の投票により、その年、最もエスピックらしいと思われる社員を一人選出し表彰するというエスピックならではのイベントです。「社員の社員による社員のための」会。それが我々エスピックの社員総会です。



社員旅行（福利厚生）

旅行という時間の共有によって、私たちは一人ひとりの個性を再発見することができます。寝坊して飛行機に乗り遅れる人がいたり、夜の宴会で突然バンドライブを披露する人がいたり、異国の情景に涙する人がいたり……。アクシデントあり、感動ありの刺激的な旅行です。現地では、世界60ヶ国以上を放浪した当社社長が「ツアコン」になることも。普段職場では目にする事ができない一人ひとりの輝ける個性をもっと知って欲しいから、もっともっと輝いて欲しいから。そんな願いを込めて実施されている海外旅行です。





野球部

野球部の活動は基本的に試合です。ベテランから新入社員、幽霊部員まで、誰でも気軽に参加できます。業務中にはなかなか関わらない人とも交流できて、とても楽しいです。野球が好きなら、ぜひぜひ一度対戦してみませんか？



フットサル部

月一回、神宮外苑でのフットサルが主な活動で、年に二回ほど大会にも出場しています。年次に関係なく“楽しむ”ことをモットーに、初心者から経験者まで皆が満足できる、程よいレベルでプレーしています。なでしこもいます！



テニス部

エスピーックでダントツの部員数（合宿専門、幽霊部員会）を誇るテニス部は、社員のみならず、家族や取引先のお客様も入り構成されており、初心者からベテランまで幅広い部員層が自慢です。都内近郊で月2回活動し、年1～2回合宿を行っています。



バスケットボール部

2010年に活動を再開しました！メンバーは若い年次から上の年次までおり、バスケがしたい人、運動不足を解消したい人、汗を流した後にビールが飲みたい人、様々です。毎回汗まみれになりながら和気あいあいと楽しく活動しています。



軽音楽部

SPIC 軽音部では年2回のペースでライブを開催しています。同期でバンドを組むもよし、上司と部下でバンドを組むもよし、気になるあの子とバンドを組むもよし！演奏者も観客も、みんなが1つになって大盛り上がりするライブは必見です！！



R&B (ランナースクラブ)

R&B (Run & Beer) クラブでは、定期的に市民マラソン大会に参加しています。距離は10km・ハーフ・フル、目標は自己ベスト更新・ダイエット等様々ですが、皆で楽しく、「R」で爽やかに汗を流したらさかさ「B」で水分補給しています。



釣り部

「人と魚を繋ぐ」というコンセプトのもと、釣りを通じて人の繋がりと大自然への感謝の気持ちを深める活動を行っています。自分で釣った魚を仲間と共に調理して楽しむバーベキュー&キャンプは最高です！



バドミントン部

一度は廃部したエスピーックバドミントン部。今は若年時のパワー溢れる部活動のひとつとなっています。緩く楽しくをモットーに、月1で活動しています。若手と接したい、体を動かしたいという方は是非バドミントン部へ！！

その他

ここに記載していない（非公認の）クラブや集まりも多数存在します。例えば、仕事帰りにメンバーを募って麻雀をする「麻雀部」なるものもあれば、土日にスポーツクラブで汗を流す「バレエ部」と呼ばれる活動もあります。我らエスピーック社員は、仕事（オン）も遊び（オフ）も一生懸命です！

活動とは言わないまでも、○○好きの集まりといったものも挙げればキリがありません（カレー好きや日本酒好き等々）。また、ゲストを招いてのゴルフコンペ開催（春と秋の年2回）や、数社合同での東京ドーム野球大会実施等、社内だけでなく社外の方々も一緒になって楽しんでます！

企業情報

企業名	株式会社エスピーック
所在地	〒130-0026 東京都墨田区両国2-10-14 両国シティコア 9F
代表電話番号	03-5625-3820
創立	1967年
資本金	8,000万円
代表者	代表取締役会長 島 至 代表取締役社長 白川 満貴
事業所	本社（東京）
事業内容	ITコンサルティング・SIサービス <ul style="list-style-type: none"> IT構築・導入・更新時のコンサルティング 自社パッケージの販売・導入 システムインテグレーション システム運用保守 IT構築・運用業務支援サービス <ul style="list-style-type: none"> ERP構築支援サービス システム構築、ソフトウェア開発支援 ITヘルプデスク、IT運用支援 IT基盤構築サービス <ul style="list-style-type: none"> ネットワーク設計・構築、インフラ整備 基盤ソフトウェアプロダクトの導入設計・構築 システム機器販売
主要取引業界	学校法人（大学）
主要取引業種	医薬品・医療材料業界（メーカー、卸、業界団体） 介護・福祉 金融（信託銀行、独立行政法人、ファクタリング業） 倉庫業・運送 商社（建材） 総合建設（ゼネコン） サービス（旅行、不動産） コンサルティングファーム SIベンダー

